

【正覚寺】 (天台宗 長窪山総泰院)

400年の歴史、緑に囲まれた地形を生かした境内は、古都の名刹を思わせる。花菖蒲や紫陽花など「花のお寺」として有名。

【茅ヶ崎城址公園】

茅ヶ崎城は14世紀末～15世紀前半に地形をうまく利用した山城。それぞれの時期に相模・南武蔵を支配した上杉氏や後北条氏が関与していたと推定。空堀、土塁が残り公園として公開。

【壽福寺】 (浄土真宗)

平安初期(806年)創建。本堂の書院風の建物が美しい。市でも古いとされる山桜、と白樺の木がある。 観音堂：壽福寺の境外仏堂。行基菩薩により奉持された正観世音菩薩は秘仏。

【最乗寺】 (浄土真宗)

500年以上の歴史ある寺院。推定樹齢600年の大銀杏(高さ約35m)、樹齢250年の白木蓮がある。本堂も寛政7年(1795)のもの。

【清林寺】 (浄土宗)

開山清閑元禄5年に開基。本堂前の山椿や樹齢約250年の白樺や銀杏の木がある。本尊の聖観世音菩薩は市の有形文化財。

【大塚・歳勝土遺跡公園】 (おおつか・さいかちど)(国史跡)

弥生中期の環濠集落である大塚遺跡と、弥生から古墳時代の周溝墓群の歳勝土遺跡からなる。 都筑民家園：柱の一部に手斧仕上げがみられたり、土間境の柱が大黒柱でないなど、古い形式を残した約200年前の貴重な民家。

【中川八幡山公園】

早淵川沿いの半島が突き出たような小高い丘の上にある公園。縄文早・中期、弥生時代などの遺跡が昭和52年に発見されたが、発掘せずそのまま保存。

【都筑中央公園】

都筑区最大の公園(18.9ha)。湧き水を利用した宮谷戸の大池、境田貝塚、ステージ広場など、各種イベントに利用。自然を活かした里山保全型の公園。